

## 鈴木町長所信表明（令和2年第4回定例会）

令和2年豊山町議会第4回定例会の開会に当たり、所信を明らかにする機会をいただきましたことに対し、正副議長をはじめ、議員の皆様には厚く御礼を申し上げます。

このたびの町長選挙で、町民の皆様の温かいご支援をいただき、豊山町長として町政をお預かりすることになりました。豊山町のため、町民の皆様の期待に応えるため、全力を傾注し、職責を果たす覚悟でございます。

議員各位をはじめ町民の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

私は、このたびの選挙で、これからの豊山町のまちづくりにあたって、「住みたいまち、住み続けたいまち」を目指してまいりたいと訴えてまいりました。

そして、そのためには、「一人ひとりが大切にされる」という理念のもと、各種の施策に取り組んでまいりたいと考えております。この理念は、国際連合が2015年に採択した、SDGS「持続可能な開発のための2030アジェンダ」のひとつの根本精神「だれ一人取り残すことない」社会をめざすことを念頭に置いたものでございます。

「住みたいまち、住み続けたいまち」を実現するためには、行政が単独ですすめられるものではなく、町民、事業者、各種団体の皆様から様々なご意見をお聞きしながら、共に考え、共に行動する、町民と行政が一体となってまちづくりをすすめるなければなりません。

私は、そのために必要な対話、労力を惜しまず、自らに与えられた全てを捧げ、町政の運営に臨む覚悟でございます。

これより、当面の新型コロナウイルス感染症対策と公約としてお示しさせていただきました「6つの約束」について、順次申し述べてまいります。

まずは、喫緊の課題であります新型コロナウイルス感染症対策について申し上げます。

今年、この新型コロナウイルスにより年が明け、暮れようとしています。この間、町民の皆様の日常生活や事業の継続など、その影響は多方面に及んでおり、いまだ収束の方向性が見えておりません。町ではこれまで、生活に困窮している方への支援、事業者や医療機関への支援など、スピード感を持って取り組んでまいりました。また、今議会においても、高齢者への PCR 検査助成や小中学校の感染症対策の強化などの新たなコロナ対策経費について補正予算をお願いしているところでございます。

引き続き、感染拡大の防止策を講じながら、時期を逸することなく、町民の皆様の命と健康、そして経済活動を守るための施策を講じてまいる所存でございます。また、第5次総合計画につきましては、感染拡大以前に、検討、策定を行ったものとなっており、ウィズコロナの視点から、改めて、施策・事業の検証をしてまいりたいと考えております。

次に、私が皆様に公約としてお示しさせていただきました「6つの約束」について申し上げます。

現在、我が国においては、少子高齢化、2040年問題、環境問題、コロナ禍を踏まえた新しい生活様式の確立などといった大きな潮流を背景に、各種の政策がすすめられています。私は、そうした状況を念頭に、豊山町の各種施策に取り組んでいかなければならないと考え、当面の施策の柱として「6つの約束」を掲げさせていただきました。

はじめに「子育て支援・医療」の観点から申し上げます。

お子さんを生み育てたいと願う方々が、子育ての喜びや楽しさを感じながら、安心してお子様を生み、ゆとりをもって育てる環境を整えていくことが何よりも大切であると考えております。

「子育てなら豊山」と言っていただけのように、施策をすすめてまい

りたいと存じます。そのために、妊産婦の皆様が安心して出産・育児をしていただけるための相談体制の充実や、延長保育や休日保育、病児保育など保育内容の拡充を図り、多様な保育ニーズに対応するとともに、放課後の子どもの居場所の充実についても取り組んでまいります。

併せて、子ども達の健やかな成長を願い、子育て世帯における経済的負担を軽減するため、現在、中学生まで無料としております医療費を、18歳まで拡大し、安心して医療を受けられるよう、制度の拡充を図ってまいります。

次に「教育・文化・スポーツ」の観点から申し上げます。

豊山町の将来を担う子どもたちが、立派に成長していただくためには、教育内容の充実はもとより、学びの場である学校の環境を整えることが重要でございます。

現在ある町内の4つの小中学校は、児童・生徒の増加に合わせて昭和30年代から50年代にかけて整備されたものでございます。特に、豊山小学校、中学校については、築年数が50年以上経過しており、まずは老朽化した豊山中学校を現在の場所から移転・新築に取り組んでまいります。また、各小学校の状況にあわせて必要な整備にも努めてまいりたいと存じます。

整備にあたりまして、町民の皆様のご意見をしっかりと伺いしながら、地域に開かれた学校となるよう努めてまいります。

併せて、豊山町の伝統的な文化の保全・継承や、新しい文化活動の支援に意をつくすとともに、スポーツ活動につきましても、後程申し上げます、愛知県のすすめる広域防災支援拠点の整備にあわせて環境整備に努めてまいります。

次に「福祉の充実」の観点から申し上げます。

町民の皆様、誰もが、住み慣れた地域の中で、助け合い、支え合いながら、生きがいをもって、安心して暮らしていただけるまちづくり

を進めていくことが、まちづくり、町政の基本でございます。

これまで町の発展にご尽力いただいた高齢の皆様が、引き続き健康で暮らしていただけるための各種の事業の充実を図るとともに、介護が必要となった場合の施策の充実にも努めてまいります。また、病気等により家庭での生活が困難になった場合、求められる必要なサービスが、より身近な環境で提供できるよう、特別養護老人ホームの町内での設置に取り組んでまいります。併せて、障がいをお持ちの方々が、家庭を離れても、自律して生活していただける場としての障がい者グループホームの整備を図ってまいりたいと存じます。

次に「防災と町の活性化・産業振興」の観点から申し上げます。

防災には、有事に備えて被害を最小限に抑えるための準備と、いざという時には、その最前線に立ち、冷静な判断により町民の皆様の安全・安心な暮らしを守り抜くことが大切であると考えております。また、自助・共助を含めて町全体の危機管理能力を高めるために、町民の皆様お一人お一人の防災に対する意識についても、高めていただくような取り組みが必要であると考えております。

そのため、自治会の連絡・連携組織を各小学校区に設置し、コミュニティ組織における人材育成に取り組むと同時に、地域防災力の一層の強化に努めてまいります。

また、愛知県が計画しております広域防災支援拠点の整備に合わせて、青山地区に町の新たな避難所を整備するとともに、河川整備や久田良木川の排水機場の増強など治水・雨水対策についても取り組んでまいります。

愛知県が整備を進めます広域防災支援拠点につきましては、平時には、スポーツ施設、子ども達をはじめとする町民の皆様のふれあいの場として活用できるよう、愛知県と調整をすすめてまいりますとともに、拠点の整備に併せ、町内外から多くの集客を図るよう、商工関係者の皆様と一体となって、新たな町の賑わいの創出に取り組んでまいります。

それと同時に、県営名古屋空港、名古屋市中央卸売市場といった他の自治体にはない資源・特長を活かし、新たなビジネス等の立地・創出がすすむよう産業施策の充実を図ってまいります。

次に「暮らしやすさの向上」の観点から申し上げます。

少子高齢化の進展に伴い、公共交通の重要性は、ますます高まっております。また、これまで、町では、公共交通の改善について取り組んできたところですが、公共交通に対する町民の皆様の満足度は依然として低い状況でございます。

運行本数、時間帯、運賃、定期券・高齢者向けの運賃制度の導入など、とよやまタウンバスの利便性向上を図るとともに、都市部へのアクセスをより一層便利にするため、先に申し上げた、広域防災支援拠点、空港、市場といった資源をもとに、名古屋市営バスの乗り入れにも取り組んでまいります。

最後に「行財政運営とコミュニティの活性化」の観点から申し上げます。

地方自治体における財政運営の基本原則は、入りを量りて出を制するとともに、最小の経費で最大の効果を発揮することでございます。

コロナ禍のもと、今年度はもとより来年度においても大変厳しい財政状況が続きますが、一步一步歩みを止めることなく、未来にむけて町政をすすめていかなければなりません。

そのためには、眼下の厳しい状況を、職員はもとより町民の皆様とも認識を共有できますよう、町長の私、自らが身を以って、その姿勢を示していくことが何よりも大切であると考え、私の任期にあっては、報酬の10%削減を堅持してまいることといたしました。

初めに申し上げた通り、これからの町政は、住民の皆様と一体となって、住民の皆様が主役となるまちづくりをすすめなければならぬと考えております。

昨今は、町内会の加入率も下落傾向が強く、また、地域のまとめ役の方々の後継者難が全国的に問題となっており、本町も例外ではございません。

災害時の対応はもとより、平素からの住民主体のまちづくりには、地域コミュニティの強化・活性化、いわゆる共助のしくみの強化がもためられています。

他自治体の成功事例などを参考に、地域の皆様とともに考え知恵を出し合い、コミュニティの活性化に努めてまいります。

以上、所信の一端を述べてまいりましたが、これらの実現にあたっては、行政だけの力だけでなしえるものではございません。町民の皆様や事業者の皆様の深いご理解とご協力をいただき、一丸となってすすめられるよう努めてまいる所存でございます。

そのためには、何よりも町民の皆様との信頼関係を築いていくことが大切であると考えています。より一層町民の皆様のお役に立てるよう、私自身が先頭に立って、職員とともに、町民の皆様との対話を重ねながら、さらに信頼される役場を目指してまいります。

そして、町民の皆様からの信頼を力として、これからの4年間、「新しい豊山」の未来へ向けて全身全霊で取り組んでまいる覚悟でございます。

議員の皆様、町民の皆様におかれましては、今後の町政運営により一層のご理解とご協力を賜りますことをお願い申し上げ、私の所信表明とさせていただきます。